



NO. 251

2014. 5. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 小泉 いと子
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>
定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

平成26年度事業計画について

平成26年3月27日(木)に理事会・評議員会が開催されました。そのなかの議案として平成26年度事業計画書(案)が承認されております。ここではその内容の一部をご報告します。

事業方針 (一部抜粋)

平成22年度の法人決算の赤字を受け、平成23年6月から「経営改革・財政再建プログラム」を基に今日まで、理事長、副理事長、常務の三役をはじめ各施設長と事務局で各種事業の見直しや施設経営上における各種課題を解決してきました。

平成24年度には、総事業費に占める人件費割合の低減化のために新規採用の停止や職員配置の見直しを行うとともに、管理部門の一部業務を外部委託化に向けて検討を実施しました。

平成25年度には、職員の質の向上への第一段階として、目標管理の実施や資格取得受験料の補助制度創設を実施しました。また、支援センターならびにケアホームのサービス提供水準の向上を目指すため事業所のあり方検討を重ねてきました。その結果、膨大な累積赤字を抱えていた支援センターを廃止し、ケアホームへの統合することで将来的にも安定した事業所経営に見通しが立つようになったと考えています。

平成26年度については、事業所のサービス提供水準の向上を目指すため、ソフト面では事業所への第三者評価の導入の検討、ハード面では各事業所の建物診断を行い、修繕計画と資金確保の検討等、改善の余地も多々残されており、先行きが安泰とは言えない状況にあります。併せて、将来的な人件費コストの高騰も視野に入れながら、職員体制の年齢構成の検討、給与水準の見直し、人事考課導入をはじめとした職員の質の向上など、永続的に安定した法人経営を目指すため、今後も引き続き課題検討を進め、法人全体で体質改善

ならびに収支改善をする努力を行いながら、次年度には停止していた職員の新規採用に向けて方向性を見出したいところです。

障害福祉サービス事業

- ア 東育成園の経営
(生活介護25名 就労継続B型25名)
- イ 港育成園の経営
(生活介護45名)
- ウ 港第二育成園の経営
(就労継続B型20名・就労移行20名)
- エ ワークスいけじまの経営
(就労継続B型20名)
- オ 福島育成園の経営
(生活介護100名 施設入所支援40名)
- カ 居宅・移動支援等事業
(移動支援・居宅介護・重度訪問介護)
- キ 共同生活援助事業(グループホーム2ヶ所)
- ク 短期入所事業(福島育成園)
- ケ 相談支援事業(西・東成・港・福島の4事業所)
- コ 日中一時支援事業
(東成・港・港二・福島の4事業所)

各種福祉事業

- (1) 知的障がい児親子通所訓練事業
(大阪市委託事業)
- (2) 障がい児等療育支援事業
(大阪市委託事業)
- (3) 障がい者就業・生活支援センター事業
(西部地域就業・生活支援センター)
(大阪市委託事業)
- (4) 知的障がい者雇用促進事業
(エル・チャレンジ受託事業)
- (5) 知的障がい者移動支援従業者養成研修事業
- (6) 区障がい者相談支援センター事業
(大阪市委託事業)